

# 林業にいがた



5

No.727

目次

森林・林業この人	
杉林で山菜栽培	2
木の生かし方・使い方	
県産材を活かした製品づくり	3
林業行政情報	
元気な森林で安全安心～治山事業のご紹介～	4
森林研究所たより	
クマ剥ぎ被害対策について	6

自由コーナー	
全国植樹祭の思い出④	8
まかせて！森林土木	
小千谷市池ヶ原の山腹崩壊～その初期対応～	9
人と緑のものがたり	
平成26年春季に開催する第65回全国植樹祭の基本計画の概要を紹介します	10
平成24年度 やまの守り手発表会	11
新設住宅着工状況	12

# 杉林で山菜栽培

湯沢町 大源太農園 清水 守

四年前、三二年間勤めていた湯沢町役場を退職し、第二の人生の場として農林業を始めました。

現在、木材価格の低迷等で林業の未来は真つ暗闇で光が見えて来ません。

自分の山に行く途中に通る杉林は、山主さんからも見放なされ、枝が伸び放題で光も射して来なくて薄暗く、そばを通っていても悲しくなります。

私も亡き父が植えた杉の無残な姿を見たのがきっかけで農林業を始めました。

荒れ果てた杉林を改めてよく見てみると、コシアブラやタラの木が白生していました。「今、杉材は

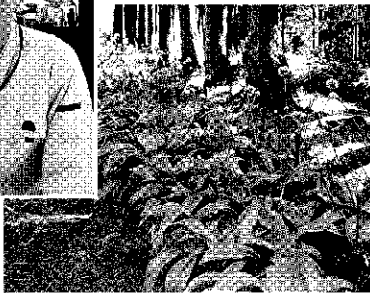
商品として使えないけど、このコシアブラやタラの木は使える。」と思い、杉林の手入れや山菜の手入れを始めました。

役場を辞める前に、縁があつて長野県栄村の行者ニンニク研究会長の保坂良知さんと知り会い、当時、視察研修に行った際、保坂さんが「行者ニンニクは、売れます。皆さん一緒に育てましょう。」と仰っていました。

行者ニンニクは、直射日光を嫌います。午前中陽が当たって、午後から日陰になるような、光コントロールされた杉林の中が栽培適地です。さつそく、保坂さんから行者ニンニクの成苗を譲っていたので、杉林の中に植えたところ、



筆者



林内の行者ニンニク



タラの芽促成栽培



収穫した山菜

元気に育ち始め、約二千本植えた行者ニンニクの成苗は、四年経つて約四千本位まで増え、わずかな量ですが、今年から促成栽培した行者ニンニク、コシアブラ、タラの芽をようやく販売することが出来るようになりました。

山菜栽培は、時間がかかりますが、植えてしまえばあつという間に五年くらいは経ってしまうし、山菜は、直売所でも非常に人気があります。

「山持ちは特権階級」です。誰もが山を持てる訳ではありません。もし、山持の方で暫く山に入っていない方がおられましたらぜひ、山を見に行ってください。あなたの山には、素晴らしいお宝が眠っているかも知れませんよ！

「大源太農園」のホームページ <http://daigenta-noen.jp/> では、林業、農業、山菜のことなど最新情報を満載していますので、ぜひ一度ご覧ください。